

## 冬期農業普及へ研修・スマート農業施設が始動

10月1日(木)、秋田市園芸振興センターによる令和2年度の冬期農業研修の開講式が開かれました。周年型の農業経営を志す農業者などを対象に開講しており、同市在住の7名が冬期作物の栽培管理や先進農家への視察研修などを半年間行い、冬期間を活用した営農体制の構築を目指します。

同日、スマート農業を活用したセンター内のイチゴ栽培用施設が公開され、研修生や穂積志秋田市長らが苗を定植しました。温度や二酸化炭素濃度、作業履歴などを記録するシステムが導入され、栽培実習などに使用するほか、実証結果が関係各所に提供される予定です。



イチゴに二酸化炭素を供給する設備を確認する穂積市長ら

## 新米「あきたこまち」を農業倉庫で販売

10月10日(土)と11日(日)の2日間、令和2年産「あきたこまち」の玄米を特別価格で販売する「収穫感謝セール」が管内4カ所の低温農業倉庫で開かれ、待望の新米を買い求める多くの地域住民が駆けつけました。混雑緩和のため後日引き取ることができるとの電話予約も事前に受け付け、販売数量は3746袋に上りました。

当日販売した玄米は全量管内のライスセンターやカントリーエレベーターで調製した1等米で、まとめ買いをして「親戚にも新米を送りたい」「今年も買いに来た」と話す消費者の姿が多く見られました。



新米「あきたこまち」を車に運び込む職員

## NEWS & TOPICS

## 男鹿梨トラック直売会

当JAと中石果樹生産組合は10月11日(日)、男鹿市五里合中石地区の梨を販売する「男鹿梨トラック直売会」を道の駅おが「オガール」で開きました。特設テントには旬を迎えた梨3品種が並び、地元住民や観光客が生産者と会話を交わしながら購入していました。

当日は特別価格の「豊水」「秋泉」「あきづき」計286箱を販売しました。来場者は品種の特徴や食べ頃などを生産者に直接聞きながら、購入する梨を真剣に選んでいる様子でした。「豊水」のバラ売りコーナーには人だかりができ、土産用に購入する人々にぎわいました。



旬の梨が並んだトラック直売会

## 管理職向け研修会を開催

10月12日(月)、支店や各課の管理職を担う職員を対象にした研修会がJA秋田なまはげ会館で行われ、20人が参加しました。

(株)インソースを講師に迎え、管理職の役割や行動基準、組織の管理体制などを確認しながら、普段の仕事の進め方を振り返りました。グループワークで意見を交わしながら、適切な部下への業務分担や指示、改善方法や人材育成の進め方なども探りました。

JAでは職位や担当業務に沿った研修を行うことで、適切な業務の遂行に向けた職員意識の向上や職場環境の整備、快適なサービスの提供に努めていきます。



管理職の立場から適切な業務遂行について話し合いました